

# 猿島西部水質障害対策協議会視察研修報告

## I. 南筑波土地改良区 理事長 大串一也氏

1. 南北に細長い地形で、当地域と類似している。受益地は500ha、浸透性の高い土壌で、条件悪く用水が多く必要である。
2. 小貝川の吉沼揚水機場から取水し、全域に配水している。19の管理組合があり、年間の運転時間や電気料を比較して、維持管理経費の節減を図っている。
3. 維持管理経費の節減のために、運転休止日を設けている。(中干し時期) 水稻の栽培管理講習会や土地改良区だよりを発行して、組合員に周知している。
4. 雨水対策・生活排水対策として、底盤打設や小排水路の整備を行い、市の援助もあり完了している。市長さんが土地改良区の理事長をしているところもあるが、市には予算がないといっても何とかすれば生み出せるものだという話を聞いたことがある。
5. 草刈り、草焼き、水路さらいなどには、非農家の人にも協力をいただいている。水環境についての理解が得られている。
6. コルゲート管は半永久的に持つということで、当時整備したが全滅、交換工事をした。
7. パイプラインは、最初は良いが用水障害がおこるので、オープン水路のほうが良いかも知れない。
8. 蛇口の盗難は100か所以上に及ぶ。個人に負担させるわけにはいかないので、土地改良区で対応した。
9. 将来に亘って、ずっと土地改良区の事業が維持していけるように取り組んでいきたい。



南筑波土地改良区 理事長  
大串 一也氏あいさつ



吉沼用水機場正門前にて

## Ⅱ．霞ヶ浦用水農業水利事業

この事業は、県西部12市町に農業用水を供給するもので、この地域は水利が不安定で、しばしば干ばつの被害を受けた。そのため、安定した水利を得るため水源を霞ヶ浦に求め、霞ヶ浦に用水機場を造り、管水路39km、筑波トンネル14キロメートルを含めた東山田調整池までの総延長195kmを国営事業で施工した。（揚水機場7か所、調整池6箇所）

### ＜南椎尾調整池＞

真壁町椎尾にあり「つくし湖」と呼ばれています。反対運動が強くて難航したが、当時の真壁町長の献身的な努力により完成した。集会のときに靴がなくなり、裸足で家まで帰ったこともあるという。

水田を中心とした、基幹施設の1期事業は平成4年度で完了、同年より畑地灌漑に主眼を置いた2期事業へ移行している。



霞ヶ浦用水農業水利事業について説明を受ける



南椎尾調整池「つくし湖」

平成23年1月25日

大山沼土地改良区理事長 園部 増治